

人 チーム 制度



社内結婚を経て“働き方を改善”

～素敵なお父さんになるために

男性社員の制度活用の増加に期待!!～

今回ご紹介するのは(株)オリエンタルコンサルタンツで一昨年12月にご結婚された池田唯順さん。結婚前後での心境の変化、働き方の変化について伺いました。

プロフィール

氏名 : 池田 唯順 (30)
 所属 : (株)オリエンタルコンサルタンツ 関西支店 国土技術部
 勤続年数 : 6年
 資格 : コンクリート診断士
 居住地 : 大阪府豊中市

これまでの経歴を簡単に教えてください。

大学ではコンクリート系研究室に所属しており、PC 橋の設計から維持管理まで携わる仕事がしたいとの思いから(株)オリエンタルコンサルタンツに入社しました。

入社後4年間はPC 橋の上部工詳細設計を担当する部署に所属し、現在はPC 橋、鋼橋を問わず新設橋の計画から設計までを担当する部署に所属しています。

結婚するにあたっての壁はありましたか？

私の場合、社内結婚なので、就業環境に対する理解が妻から十分に得られていたこと、また、夫婦ともに出身が関西圏であり勤務地や居住地を悩む必要が無かったこと等から、結婚するにあたって特に大きな壁はありませんでした。

結婚して良かったことはなんですか？

結婚して良かった事は数多くありますが、食事面は大変感謝している事の一つです。独身時代は夜遅くまで仕事をしているので、外食ばかりでしたが、結婚して3食の食事を作ってもらい、健康面でもサポートしてもらっていると感じます。また、仕事では時間を意識した働き方を心掛けるようになり、手戻りやムダの削減、段取り、集中時間の確保等、効率向上に向けて工夫するようになったので、仕事面でも良かったと感じることは多いです。

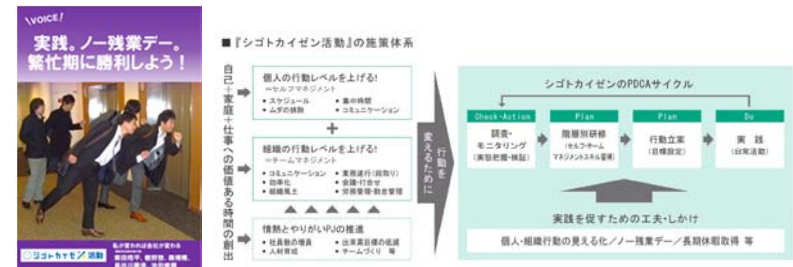


妻の愛妻弁当

結婚前後で働き方に変化はありましたか？

独身時代は時間を気にせず仕事中心の生活をしていましたが、結婚して共働きをする上で“働き方の改善”が必要になりました。働き方を改善するために大事なことは「働き方にメリハリをつけること」、「家に仕事を持ち帰らないこと」と考え、以下を意識づけて実施しています。

- ①水曜日のノー残業デーの積極実施
 - ②毎朝1日の作業スケジュールの明確化（社内「シゴトカイゼン活動」※の一環）
- ※「シゴトカイゼン活動」:OCで平成27年10月よりスタートした「就業環境改善の強化」に向けた取り組み



平日残業しても土日は休む場合、平日早く帰って土曜日は仕事をする場合など、メリハリの付け方は個人で異なると思いますが、時間を意識した働き方をすることで家族との時間を作っていきたいと考えます。また、チームには家庭事情を理解してくれる方々が多く、周りの協力も大変助けになっています。

今後の悩みはありますか？

もうすぐ子供が生まれますが、里帰り出産をしないので、さらに働き方を改善し、妻をサポートしていきたいと考えています。社内では育児休業をとる男性社員が増えてきており、男性社員でも取得しやすい環境になってきているため、私自身、育児休業の取得を前向きに検討していますが、担当業務の引継ぎや業界の繁忙期が年度末に集中する現状を考慮するとなかなか判断できていない状態です。

これからは働き方が多様化し、様々な制度が新たに整備されていくと思います。その中で、男性社員として取得できる育児休業、分娩休暇、あるいは各社独自で整備されている時間を限定した制度に加え、在宅勤務制度の充実にも期待します。

建設コンサルタントはチーム内でのコミュニケーションが重要であり、電話やメール、TV 会議ではなかなか伝わりにくいことも多く、制度化には課題が多いと思います。しかし、外部からでもメールのチェックや、TV 会議ができ、IT 環境が整備されていますので、在宅勤務制度により働き方の幅が広がるのではないかと考えます。まだ、出産まで時間があるのでベストな方法を選んでいきたいです。